

大井川水系流域治水協議会

資料-5-2

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 静岡地方気象台見学等の機会を利用し気象台の役割等を説明(静岡地方気象台)
- 藤枝どぼくらぶの「まちづくり講座」と連携し、小中学校の社会科見学等の機会を利用して公共施設等の役割や効果、必要性を説明(藤枝市)

教育活動

- 自治会・小・中・高等学校・要配慮者利用施設等における講話、出前講座(静岡河川事務所、静岡県、焼津市、藤枝市、島田市、川根本町、牧之原市、吉田町、静岡地方気象台)
- 水防災教育学生サポーター制度(静岡大学と連携)を活用した水防災教育(静岡河川事務所)
- マイ・タイムラインやわたしの避難計画等の更なる普及啓発(静岡県、藤枝市、島田市、牧之原市、吉田町)

水防活動の支援

- 出水期前の水防団・消防団等との重要水防箇所の共同点検の実施(静岡河川事務所、静岡地方気象台、焼津市、藤枝市、吉田町)
- 土のうステーションの運用、土のう補充(焼津市、島田市)
- 河川防災ステーションを活用した水防訓練等の実施(吉田町)

リスク情報等の提供

- キキクル等の防災気象情報の利活用の周知・啓発(出前講座、ワークショップ等)(静岡地方気象台)
- SNS、HP、防災アプリ、メディア等による防災気象情報や避難情報提供(焼津市、藤枝市、島田市、吉田町)
- 水位計・河川監視カメラの増設(藤枝市、川根本町)
- 河川水位・雨量など防災気象情報の一元化・改善(藤枝市、静岡地方気象台)

訓練活動

- 住民参加型の訓練の実施(焼津市、藤枝市、川根本町、吉田町)
- OR-DIG(水害版図上訓練を実施)(藤枝市)

流域治水の広報

- 広報誌による水害・土砂災害に関する啓発活動(焼津市、藤枝市、牧之原市、川根本町)
- 河川防災ステーションにおける広報物等の展示(吉田町)

水災害対策の支援

- 災害時のJETT派遣(気象庁防災対応支援チーム)による自治体等への防災気象情報の提供等支援(静岡地方気象台)
- 地区拠点や希望する地区・市民への土のう配布・配備(藤枝市、焼津市、川根本町、吉田町)

計画策定

- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(焼津市、藤枝市、島田市、川根本町、静岡地方気象台)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

大井川水系流域治水協議会

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 流域市町村の小学校から社会科見学等の機会を利用して長島ダムの役割や効果、必要性を説明(長島ダム管理所)
- ダム、砂防等インフラの役割、メカニズムが伝わるツアーに参加(「大井川長島ダム流域連携協議会」の事業等を活用)(吉田町)

流域治水の広報

- 平谷の流したい
青竹と麦わらを束ねて大きな松明を立てて大井川へ流し、水難者の霊を弔う行事(川根本町)
- OHP・SNS・掲示板による広報(静岡河川事務所)

教育活動

- 洪水・土砂災害ハザードマップの説明会・令和4年度に作成した洪水・土砂災害ハザードマップの活用方法を踏まえた説明会を実施し、住民自らが災害リスク及び適切な避難行動を正しく理解できるよう防災能力向上を図る。(島田市)

リスク情報等の提供

教育活動

- ダム見学等の機会を利用し小中学校における防災教育(長島ダム管理所)
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や研修会等(長島ダム管理所)
- 地域住民等への山地災害防止及び減災意識醸成の啓発活動(林野庁、静岡県、森林整備センター)

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域、ハザードマップ、防災マップ等の公表・周知(静岡県、藤枝市、島田市、川根本町、吉田町)
- ワンコイン浸水センサーの普及啓発(静岡河川事務所)

訓練活動

- 水防訓練の実施
 - ・各種土のう工法の訓練を継続実施し消防団等の技術と意識の向上を図る。
 - ・自主防災組織の参加により地域住民の防災に関する技術と意識の向上を図る。(島田市)
- 手作りハザードマップの作成(川根本町)

水災害対策の支援

- 企業立地や宅地開発の際の雨水調整池の整備誘導(吉田町)

計画策定

- 地域防災計画の更新・公表(島田市、川根本町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人		広報誌による水害・土砂災害に関する啓発活動		
		河川防災ステーションにおける広報物等の展示		
		藤枝どぼくらぶの「まちづくり講座」と連携した小中学校の社会科見学等の機会を利用し公共施設等の役割や効果、必要性を説明		
		静岡地方気象台見学等の機会を利用し気象台の役割等を説明		
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人		SNS、HP、防災アプリ、メディア等による防災気象情報や避難情報提供		
		キキクル等の防災気象情報の利活用の周知・啓発		
		水位計・河川監視カメラの増設		
		SNS、HP、防災アプリ、メディア等による防災気象情報や避難情報提供		
		河川水位・雨量など防災気象情報の一元化・改善		
		自治体・小・中学校・要配慮者利用施設等における出前講座等の開催	水防災教育学生サポーター制度を活用した水防災教育	
		マイ・タイムライン、私の避難計画の更なる普及啓発		
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体		住民参加型の訓練の実施		R-DIG(水害版図上訓練)の実施
			要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進	
			災害時のJETT派遣による自治体等への防災気象情報の提供等支援	
			地区拠点や希望する地区・市民への土のう配布・配備	
			土のうステーションの土のう補充	
		出水期前の水防団・消防団等との重要水防箇所の共同点検の実施		
		河川防災ステーションを活用した水防訓練等の実施		

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	HP・SNS・掲示板による広報			
	● 平谷の流したい	小中学校の社会科見学等の機会を利用し長島ダムの役割等を説明		
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	浸水想定区域、土砂災害警戒区域、ハザードマップ、防災マップ等の公表			
	ワンコイン浸水センサーの普及啓発			
	ハザードマップ説明会			
	● 防災講話、研修会 ● ●	ダム見学等の機会を利用し小中学校における防災教育		
	● 地域住民等への山地災害防止及び減災意識醸成の啓発活動	● 手作りハザードマップの作成		
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	地域防災計画の更新			
	企業立地や宅地開発の際の雨水調整池の整備誘導			
	水防訓練の実施 ●			